

2012 年秋の応用物理学関係連合講演会企画にあたって

応用物理学会講演会企画運営委員長
宮崎 誠一

2012 年秋第 73 回応用物理学会学術講演会は愛媛大学城北地区、松山大学文京キャンパスにおいて、41 の口頭発表会場と 2 つのポスター会場（第 2 体育館、第 3 体育館）を設けて開催されます。本年春季講演会に引き続いて 17 の大分類分科と 2 つの合同セッションにおいて 3401 件の一般講演が行われます。併せて 20 件の分科内招待講演、3 件の海外研究者招待講演、4 件のチュートリアルと、22 件のシンポジウム（うち分科企画シンポジウム 9 件、特別シンポジウム 3 件）が開催されます。また、4 つの中分類分科と 3 つのシンポジウムが、English セッションとなっており、一段と英語による発表の機会が増えています。特に、新企画の Optical Society of America(OSA) との合同シンポジウムでは、会期 4 日間を通して、光学系の 8 つエリアで 185 件の発表（内招待講演 21 件）が行われます。また、ポスター会場には、100 社以上の企業・団体からの展示会も併設いたします。

厳しい経済情勢が続く中、例年並みを越える一般投稿件数となり、さらに新たな企画も加わって、実り多き講演会となると確信しております。本年春季講演会から、投稿時に発表形式（口頭、ポスター）の希望を入力できるようにしましたが、今回、口頭発表希望は全体の約 7 割で、ほぼ登壇者の希望を満たした形でプログラム編成することができました。一般セッションにおいては、一般投稿の中からも招待講演を厳選し、魅力あるセッション作りを行いました。また、各シンポジウムにおいて、一般投稿の受け入れを原則とし、招待講演（総数：260 件）に加えて、一般投稿（採択総数 54 件）をプログラムに組み込んで、より開かれた議論の場となるように工夫しています。更に、講演会 2 日目以降に開催される分科企画シンポジウムでは、関連分野の一般セッションとは日程重複しないように配慮しています。チュートリアルは今回、1 件当たり 3 時間を取って、該当するテーマについて、特に基礎の部分をしっかり学べるように致しました。また、講演会をより一層魅力ある会合にするために、会期中に全ての大分類分科において意見交換会を開催し、各分科の委員と発表者、参加者の間で、自由な意見交換ができる場を設けます。分類の見直しによる再編、プログラム編集委員や講演会企画運営委員の選出、英語セッションの導入・拡大、プログラムの編成などに関して活発な意見交換を期待しています。

今回の講演会企画の主なトピックスを以下に列挙します。

特別シンポジウム（参加費無料）

- ・ここまで来た酸化物材料科学：創造と成功の本質（現地実行委員企画）
- ・固体エレクトロニクスの挑戦—新しい歴史に向けて（SSDM2012 実行委員企画）
- ・震災復興に向けて応用物理が取り組むべき技術課題（将来ビジョン検討 WG 企画）

English セッション

☆ 6.4 New thin-film materials 薄膜新材料

☆ 8.3 Plasma deposition of thin film and surface treatment プラズマ成膜・表面処理

☆ 8.4 Plasma etching プラズマエッチング

☆ 8.5 Plasma nanotechnology プラズマナノテクノロジー

☆ シンポジウム 「結晶工学分科企画：Growth of In-rich InGaN and its application」

☆ シンポジウム 「薄膜・表面分科企画：Oxide Heterostructures and Nanocomposites」

☆ シンポジウム 「JSAP-OSA Joint Symposia」

* JSAP-OSA Joint Symposia は以下の 8 つの分野において、一般セッションと同じスタイル（但し、英語による発表）で開催されます。

- ・ Plasmonics: imaging
- ・ Plasmonics: materials and devices
- ・ Nanocarbon Photonics
- ・ Biophotonics
- ・ Medical Photonics
- ・ Lasers, Laser Applications
- ・ Opto-electronics
- ・ Optical Micro-sensing, Manipulation, and Fabrications

本会に関わる受賞記念講演として、今回新たに外国人フェロー受賞記念講演（4 件）が講演会初日に行われる他、応用物理学会論文賞（16 件）、講演奨励賞（39 件）、放射線賞（1 件）、プラズマエレクトロニクス賞（1 件）、有機分子・バイオエレクトロニクス分科会奨励賞（2 件）の受賞記念講演が予定されています。また、恒例の「博士のキャリア相談会」も継続開催致します。

講演プログラム及び講演会場、展示企業及び展示ブースなどが昨年同様、iPhone・iPad と Android のアプリで提供されていますので是非ご利用ください。これを使えば、講演会場の号館や展示会のブースの場所がスマートフォンの表示画面でキャンパス地図から案内される他、講演者や講演タイトル、講演時間なども簡単に検索できます。従来に引き続いて、託児室の設置も行っていますので、有効にご活用ください。

展示会場（JSAP EXPO FALL2012）では、「「応用物理」創刊 80 周年、論文誌「JJAP」創刊 50 周年記念」として「本会分科会・研究会による特別展示」や、出展企業によるポスターセッション（ナイトセッション）、「多元系化合物太陽電池開発の現状とこれからの展開」シンポジウムとのコラボレーション企画なども実施されますので、奮ってご参加ください。参加者にとって有意義で楽しく充実した学術講演会になるよう願っております。最後になりましたが、講演会場をご提供いただいた愛媛大学、松山大学と現地実行委員の先生方に深く感謝いたします。